

## キャッシュの制御

<http://jp.php.net/manual/ja/function.session-cache-limiter.php>

`session_cache_limiter`

でクライアントに送信されるキャッシュ制御の HTTP ヘッダを制御します。

値	意味
<code>nocache</code>	クライアント（および途中に介在するプロキシ）にキャッシュさせない。
<code>public</code>	クライアント（および途中に介在するプロキシ）にキャッシュを許す。
<code>private</code>	クライアントにのみキャッシュを許す。途中に介在するプロキシにはキャッシュを許さない。
<code>private_no_expire</code>	機能は <code>private</code> と同じだが、Mozilla 系を混乱させないため Expires ヘッダを送信しない。

## ページの有効期限切れ

`session_cache_limiter`

で

`nocache`

を指定した状態で、ブラウザで「戻る」などの操作を行うと「ページの有効期限切れ」が表示される。

これは、ブラウザがキャッシュを持っていないために「戻る」先のページを表示できないためである。

状況により `session_cache_limiter` を正しく設定したほうが良い。

とりあえず、ページの有効期限切れを解消したい（キャッシュしてもいい）なら

`private`

を設定しておけば大丈夫。